



おおみや

vol.147

2025/3/19

発行／大宮中学校 PTA

編集／広報部

印刷／株式会社五六堂印刷

祝

PTA表彰

会員の部

理事2年以上、評議員を連続および断続的に3年以上務めた方

受賞おめでとうございます

北條 隆範さん

令和4年度 PTA副会長（1年間）

令和5・6年度 PTA会長（2年間）

高橋 但馬さん

令和4・5・6年度 PTA副会長（3年間）

伊藤 祐美子さん

令和4年度 クラス委員長（1年間）

令和5・6年度 PTA副会長（2年間）

熊谷 智子さん

令和5・6年度 PTA副会長（2年間）

飯岡 千春さん

平成28年度 令和元4・6年度 クラス委員長（4年間）

令和5年度 地区会長（1年間）

佐々木 希代子さん

令和3・6年度 クラス委員長（2年間）

令和4年度 地区会長（1年間）

生徒の部

中体連・中文連等主催（共催・後援）で全国大会以上の出場チームおよび個人、理事会で推薦された生徒

受賞おめでとうございます

千葉 妃さん

「3年4組・剣道」
第54回全国中学校剣道大会（女子個人）

櫻井 悠貴さん

「3年4組・飛込」
第64回全国中学校水泳競技大会飛込競技（高飛込、3m飛板飛込）

武藏 みづきさん

「2年5組・柔道」
第55回全国中学校柔道大会（女子個人70kg超級）

松田 夏輝さん

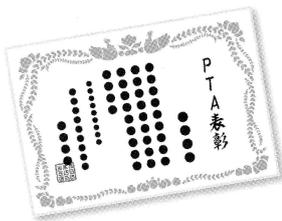
「2年1組・陸上」
第55回U16陸上競技大会（U16女子ジャベリックスロー 第2位）

千葉 大尊さん

「3年1組・アイスホッケー」
第45回全国中学校アイスホッケー大会（ベスト8（右手県選抜選手））

小林 朔大さん

「2年4組・アイスホッケー」
第45回全国中学校アイスホッケー大会（ベスト8（右手県選抜選手））



あいさつ運動について

1学年会長 高桑 直美

あいさつ当番の生徒や保護者の「おはようございます」の声に負けない声で返してくれる生徒。はずかしそうな小さな声の生徒。

あいさつは、コミュニケーションのはじめの一步。登校してくる生徒みんながあいさつを返してくれたので、爽やかな気持ちにさせてくれました。ありがとうございました。



地区一斉スポレクの日

～ユニカール～

スポレク実行委員 ユニカール担当

熊合 智子

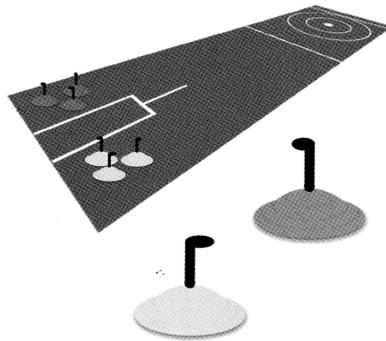
10月5日に開催された「地区一斉スポレクの日」では、グラウンドゴルフ、ゲートボールなど全6種目が実施され、約480人が参加しました。

このうち、ユニカールには65名、全22チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。ユニカールは、「陸のカーリング」と呼ばれ、重さ3kgのストーンを専用マット上で滑らせるように投げ合い、センターサークルに近づけることで点数を競う奥が深いスポーツです。

皆さんコツをつかむのが早く、試合開始前の数回の練習で上手にストーンを投げられるようになっていました。試合中は、滑らかに投げられたストーンにも、勢いよく回転してしまったストーンにも、一投ごとに歓声や拍手が送られ、大変盛り上がりしました。

ユニカールは、子どもから大人まで幅広い世代で楽しめるスポーツだなと実感するとともに、参加した皆さんの笑顔や仲良く交流する姿に元気をもらいました。

競技の指導をしてくださいました天沼さんと岩泉さん、事前講習会から当日の運営まで携わっていただきました運営委員の皆様、大変ありがとうございました。皆様のご協力により、無事にスポレクを終了することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。来年も多くの皆様の参加をお待ちしております。



地区一斉スポレクの日

～ゲートボール～

スポレク実行委員 ゲートボール担当

田貝 優

前日の降雨のため、グラウンド状態も含め実施が心配されましたが、当日は朝から天候にも恵まれ、開催することができました。

ゲートボール協会の指導員の方々には、コート設営及びルールの説明から競技の実施方法など、丁寧に教

えていただきました。

初めて体験する人たちも多いよう
で、真剣に耳を傾けていました。

競技は、9地区12チーム、約70名の参加者で行なわれました。

ボールにスティックを上手く当てられなかったり、なかなかゲートを通過することができなかつたり、悪戦苦闘する姿が各コートで見られましたが、それでも楽しそうな笑い声があちらこちらから聞こえてきました。

学校・家庭・地域の交流を図りながら、お互いの親睦を深め、生徒の健全育成に努めるというスポレクの目的は、一定の成果を得られたのではないのでしょうか。



職業講話について

2学年会長 小笠原 昌子

学年行事として行われた職業講話「未来のとびら」に講師として参加させていただきます。

生徒の皆さんが、事前に質問や担当を決め、準備してくれていたことで、スムーズに講話を進めることができました。今回、19の職業からそれぞれ興味のある職業を選んで、講話を聞くことになっており、私の「芸能関係」のグループにも、たくさん参加してくれました。「仕事の内容はどのようなことをするのか」、「時間や給料は」などなど、いろいろな質問がありました。他の業種と少しばかり違う特殊な仕事であるため、



みんな興味をもって話を聞いてくれたように思います。

今回、このような機会があり生徒の皆さんとお話できて良かったと思います。

生徒の皆さんの遠くない「未来」に、少しでも役立つと嬉しいなと思います。

学校公開 講演会「あきらめない力」

北京オリンピック銅メダリスト

永井 秀昭氏

中学校時代、とくに運動が抜群にできるわけでもなく平凡な自分が、どのようなきっかけで意識が変わり、練習に励み、メダルを取るまでに至ったか。また、その過程で学んだことをわかりやすく映像を交えながらお話いただきました。

練習が好きでもなかった自分の意識が変わり、練習に打ち込みだしたのは、1998年2月の長野オリンピックを見たときからで、「自分も大舞台で結果を残したい」そんな夢をもったそうです。その後、誰に言われなくても、自分で方法を考え、トレーニングを積み、その結果中学三年の時、大会で優勝を果たしました。この経験から「やりたくないことでもやらなければならぬことはやる」「継続は力なり」ということ

を学んだそうです。

伝えたい大切なことは、次のこと。

- ・目標があるからあきらめない気持ちが生まれる
- ・全力でやる
- ・結果をすぐに求めない
- ・継続は力
- ・努力は当たり前で、それ以上の努力をする
- ・失敗し、学び、進むとそれが経験という武器になる
- ・あきらめないで学ぶ精神を、ぜひ見習っていききたいと思います。



「あきらめない力」を受講して

舘澤 久雄

私は常々オリンピック選手はどのような環境で練習しているのか興味があり、今回の永井秀昭選手の3大会オリンピック出場という偉業の期間において、メンタルの維持の仕方について知りたいと思いました。

練習嫌いの少年が、長野オリンピック、ジャンプ団体金メダルに刺激を受けそこから頭角を現わしていきます。俗に、何かのきっかけと言われますが、まさに運命だったのでしょうか。良い指導者に恵まれ素質が開花されたわけですが、「やらなければならぬことはやる」ということで自分にプレッシャーをかけて精神力を鍛えていく過程も凄いと感じますし、楽しんで競技を行うことも重要であると言われ、苦しい中でも楽しさを見つけ、練習による自信と楽しむことで実力が発揮できるのだと感じました。

私にとっても今回の講演は大きな刺激になりました。ありがとうございました。

PTA活動を振り返って

PTA広報部

道野畑 敦子

広報部では、今年も2回目の活動を通じて広報誌制作を行いました。7月と12月の年2回発行し、校内のイベントや出来事、活躍した生徒、日頃お世話になっている先生方を紹介するなど、生徒や保護者の皆様に知っていただきたい情報をまとめ、楽しく読める誌面づくりを心がけました。

広報誌を通して、学校生活の魅力がたくさんお伝えできるよう、次号も制作していきます。

誌面づくりにご協力くださった皆さん、本当にありがとうございました。



PTA教養部

柳澤 佳代子

今年度、教養部では主に家庭教育学級の開催に向けて準備を行いました。先生方や3年生の部員、前部長さんにも相談しながら計画し、当日は部員の皆さんにもご協力いただきました。集まる機会は少なかつたですが、進んで役割を引き受けてくださる方が多く、スムーズに会を行うことができました。

講演では、「心の危機をどう乗り越えるか」より良い人生を送るために」と題して、臨床心理士の菅原憲先生からお話をいただきました。思春期や不登校といった中学生が直面する危機を中心に、物事をどうとらえるかという視点の大切さを学びました。参加した多くの方から、子どもと向き合う上で参考になったと好評をいただきました。

今回のアンケートの感想・ご意見を生かして、次年度もさらに充実した活動になると良いと思います。



PTA生活指導部

山口 朱美

5月、学校近辺の4カ所で朝の交通安全指導を行いました。あいさつ、交通マナーが良く、笑顔で登校する姿もみられ心温まる朝となりました。6月、11月、2月に防犯活動イオン盛岡南内巡回を行いました。

子どもたちをとりまく環境が日々変化する中で、安全に充実した生活を送れるように、子どもと寄り添うことや、先生方と保護者の連携が大切だと改めて感じました。

ご協力いただきありがとうございます。

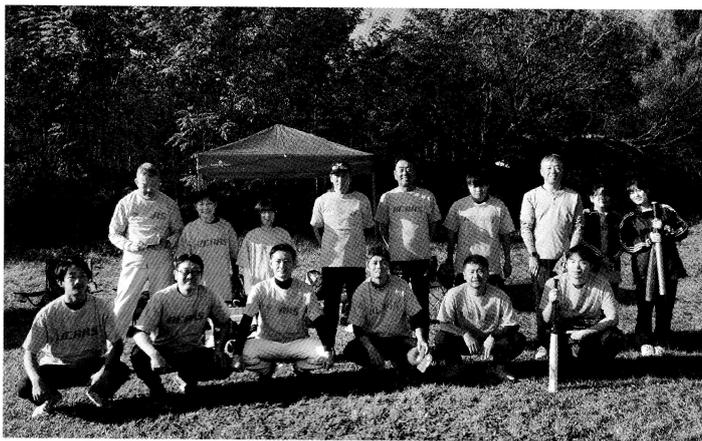


岩手おやじソフトボール

リーグに参加して

おやじの会 代表 北條 隆範

今年で21回目の開催となったおやじソフトボールリーグは、盛岡市の小中学校に属するおやじPTAを中



心にOBや教職員などが参加をし交流を深める毎年恒例のイベントとなっております。

我が大宮中学校は毎年参加している常連校です。おやじを中心に母さん方、教職員と一緒に楽しく野球を追いかけてきました。今年も例年通り予選最下位通過。順位決定戦でも負け続けいよいよ最下位決定戦。残り10分で6点リードされ最弱チームの称号を手にすると思われた瞬間、奇跡が起きます。打線が驚くほど繋がり打者一巡の猛攻で一気に大逆転。決勝戦かと思う程の盛り上がりで最

終戦にて勝利することができました。

夕方からはPTA役員も加わり楽しく親睦を深めることができました。参加することで教職員とPTAの繋がりがより深まりこれからの活動が更に楽しくなる。そんなきっかけにしてほしい行事です。来年はさらに参加者が増え優勝してくれることを期待しています。



【お詫びと訂正】

広報第146号の「職員紹介」欄にて、田村さんの写真が違っておりました。謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

おおみや第147号発行にあたり、ご寄稿・ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。今号では、昨年より復活したスポレクやメタリストの方による講演会など様々な行事の様子や感想をお伝えしました。子供たちの活躍やPTA活動を知っていただければ幸いです。

PTA副会長 伊藤 祐美子